



MAFF
農林水産省

中国四国農政局

2026

選考採用パンフレット
一般職係長級(事務系)

” 自然を守る。国を守る。 ”

Contents

P3 まずは知ってほしい、中国四国農政局！

P4 中国四国管内MAP

P5 業務内容

P15 求められる人材

P16 採用後の処遇

P17 育成・フォロー体制

P18 過去の採用実績
中国四国農政局の職員構成

P19 ワーク・ライフ・バランス

P20 働き方改革

P21 BUZZ MAFF(ばずまふ)

P22 育児休業取得者の声

P23 選考採用者からのメッセージ

P25 採用スケジュール



VISION STATEMENT

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

まずは知ってほしい、中国四国農政局！

中国四国農政局とは？

中国四国農政局は、全国8ヶ所に設置されている農林水産省の地方行政組織の一つとして、中国地方・四国地方の9県を管轄し、約1200人の職員が日々の業務に励んでいます。

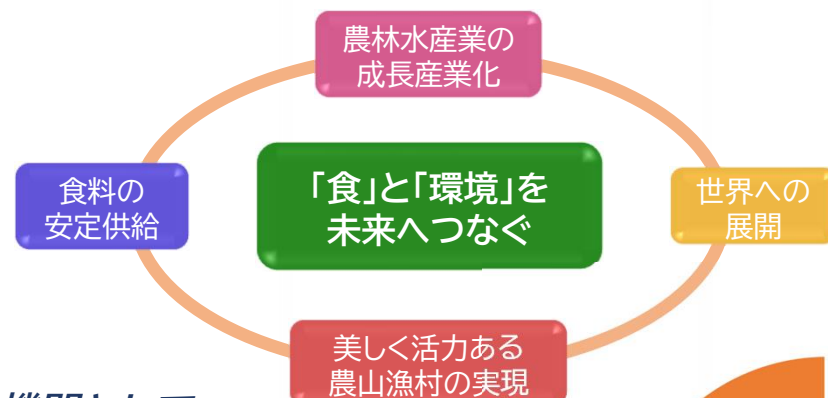
太平洋・日本海・瀬戸内海に囲まれ、中山間地域を多く持つ中国地方・四国地方は、美しい自然と豊かな環境に恵まれ、多種多様な気候、風土により様々な農業が展開されています。中国四国農政局は、このような地域の特性を活かしたきめの細かい農業行政を総合的に推進しています。



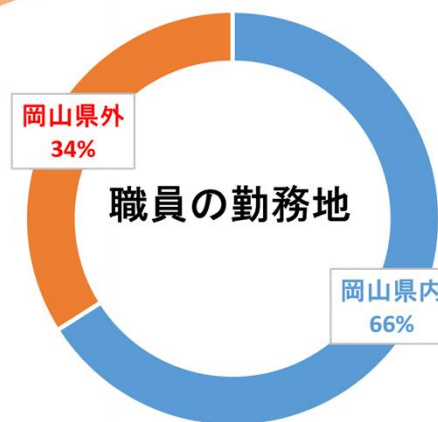
具体的に何しているの？

生産や消費の現場により近い国の機関として…

- (1) 食料・農業・農村に関する施策の普及・地域の実態の把握
- (2) 食品の安全性の確保のための監視・指導と消費者行政
- (3) 主要食糧業務の実施、食品産業行政の推進
- (4) 生産及び経営を通じた農業施策の一体的な推進
- (5) 農村及び中山間地域の振興、農業農村整備事業の実施・指導・助成
- (6) 国営事業による基盤整備等について、地域の実情に合った施策の実施



どこで働いているの？



職員の約7割が岡山県内で勤務！

■ 岡山県内 ■ 岡山県外

(%は職員の人数比(事務系職員、令和8年4月1日現在))



ここが私たちのステージ！中国四国管内MAP

中国四国農政局(本局) (岡山県岡山市)

企画調整室

総務課
会計課

消費・安全部

生産部

経営・事業支援部

農村振興部

統計部

県拠点:9ヶ所

鳥取県拠点(鳥取県鳥取市)

徳島県拠点(徳島県徳島市)

島根県拠点(島根県松江市)

香川県拠点(香川県高松市)

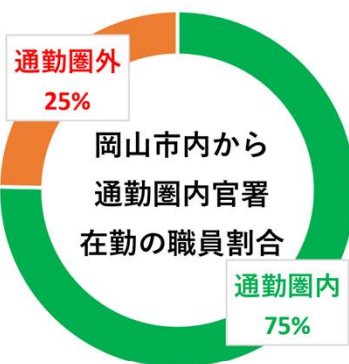
岡山県拠点(岡山県岡山市)

愛媛県拠点(愛媛県松山市)

広島県拠点(広島県広島市)

高知県拠点(高知県高知市)

山口県拠点(山口県山口市)



■ 通勤圏内 ■ 通勤圏外

(%は職員の人数比(事務系職員、令和8年4月1日現在))

国営事業(務)所:11ヶ所(2支所除く)

中国土地改良調査管理事務所(広島県広島市)

四国土地改良調査管理事務所(香川県丸亀市)

土地改良技術事務所(岡山県岡山市)

吉井川農業水利事業所(岡山県岡山市)

吉野川北岸二期農業水利事業所(徳島県阿波市)

道前道後用水農業水利事業所(愛媛県東温市)

穴道湖西岸農地整備事業所(島根県出雲市)

南周防農地整備事業所(山口県田布施町)

道前平野農地整備事業所(愛媛県西条市)

高知南国農地整備事業所(高知県香美市)

岡山南土地改良建設事業所(岡山県岡山市)

同一建物内
に所在

令和8年4月現在

■ 県拠点

■ 国営事業(務)所

■ 岡山市内から通勤可能な官署
(岡山県外4ヶ所)

※恒久官署ではなく、将来的に役割を終える事業所も含まれます。

※中国土地改良調査管理事務所は広島市中区へ移転予定です。

移転後は岡山県内からの通勤が可能となります。



企画調整室

農政局が所掌する各種施策に関する企画・総合調整、広報・報道活動、農畜産物等の災害対策のとりまとめ、農畜産物・飲食料品等の物価対策、農政全般に関する情報発信・収集及び相談対応等を行っています。



総務課

公文書の接受・施行・保存、情報公開、職員の人事、服務、研修及び福利厚生、共済組合の運営、情報化の推進、情報システムの整備・管理等を行っています。



会計課

入札・契約、歳出・歳入、補助金等の経理、物品の購入・管理、国有財産の管理、宿舍の管理、営繕、庁舎管理等を行っています。



有機農業PRイベントの開催

岡山県における有機農産物等の需要と消費拡大を図ることを目的として、岡山県内の生産者がお米や野菜などの有機農産物を販売したほか、有機農業のPR展示、「ベジチェック®」を使った野菜摂取レベルの測定体験等を行いました。



農政局フェアの開催

岡山高島屋と連携し、農林水産省の様々な施策のPRを行うとともに、関連する岡山県の実践事例等の紹介や農産物・加工品の販売を行いました。





消費生活課

食の安全に関する正しい知識の普及啓発、食育の推進、食品アクセスの推進、「消費者の部屋」の運営、消費者相談窓口等を行っています。



米穀流通・食品表示監視課

食品表示法、米トレーサビリティ法などの監視7法に基づく監視、普及・啓発、食品表示に関する疑義情報や相談の受付等の業務を行っています。



農産安全管理課

農産物の安全性確保、病虫害の防除対策、輸出入に係る植物の検疫に関する情報の収集及び提供、農薬・肥料の安全性確保及び適正な使用、土壌汚染の防止・除去等の安全性確保等を行っています。



畜水産安全管理課

畜水産物の安全性確保、飼料・動物用医薬品等の安全性確保及び適正な使用、牛トレーサビリティ、ペットフードの安全性確保等を行っています。



消費者の部屋



詳細はこちらの動画をチェック！

岡山第二合同庁舎1階にある展示コーナーでは、農林水産省の取組や身近な食生活に関する様々なテーマについて、パネルやパンフレットを用いて情報提供を行っています。また、中四国管内の図書館等に出向く「移動消費者の部屋」や「消費者相談窓口」も設置しており、消費者の皆さまと積極的にコミュニケーションを図っています。



食育セミナーの開催

令和8年1月27日（火曜日）に【「令和7年度中国四国農政局食育セミナー」備えよう！災害の前に～いざという時にできることを考えよう～】を開催し、第7回食育活動表彰のボランティア部門（食生活改善推進員の部）において消費・安全局長賞を受賞された備前市栄養委員会の皆様のご協力のもと、「耐熱性ポリ袋を使用した調理」の体験教室を実施しました。



03 生産部



生産振興課

米・麦・豆類など主要農作物の生産・流通の改善等に関する指導・助成、米の需給調整（生産数量目標の設定等への助言等、麦・大豆・新規需要米等の生産振興等）、経営所得安定対策の推進等を行っています。



業務管理課

主要食糧の売買管理等に関する業務、主要食糧の納付金の徴収・米穀の輸出入数量の届出に関する業務を行っています。



園芸特産課

野菜、果樹、花き、工芸農作物等の生産・流通の改善等に関する指導・助成、需給等の調査、野菜価格安定対策等を行っています。



畜産課

畜産の振興、畜産経営の改善、畜産物の流通・消費に関する指導・助成、畜産環境の保全、草地の整備、飼料の確保、地方競馬監督等を行っています。



環境・技術課

農業技術の改良・普及、生産資材等のコスト削減、環境保全型農業・GAPの推進、バイオマス・再生可能エネルギーの利活用の促進、地球温暖化対策等を行っています。



スマート農業の推進

スマート農業の詳細はこちら
(中国四国農政局HP)



近年発展が著しいロボット、AI、IoT等の先端技術を活用して、農業現場の労働力不足を解消し、生産性を飛躍的に向上させる「スマート農業」の取組に期待が高まっています。

中国四国農政局では、スマート農業を行うために必要な設備や機械を導入する費用を補助する事業を行ったり、スマート農業に取り組みたい農業者に向けたフォーラムを開催することで、スマート農業の推進に取り組んでいます。



ラジコン草刈機



ドローンによる農薬散布



GREEN×EXPO 2027

GREEN×EXPO
2027公式HP



「GREEN×EXPO 2027」とは、2027年に神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）で開催される国際園芸博覧会の略称です。日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上位（A1クラス）での開催で、BIE（博覧会国際事務局）認定の万博でもあります。

横浜スタジアム約28個分、約100ヘクタールの広大なエリアに1000万株の花と緑が集結します。

04 経営・事業支援部



担い手育成課

地域計画、認定農業者制度、集落営農、農業経営の法人化等の推進による農業の担い手の育成等の事務を行っています。



輸出促進課

輸出の促進、海外事業展開、輸出に必要な証明書の発行、地理的表示、知的財産の保護・活用等の事務を行っています。



食品企業課

食品産業の育成・振興、適正取引の推進、食品・容器包装リサイクルの促進、卸売市場の整備、食文化の振興等の事務を行っています。



農地政策推進課

農地の権利移動その他農地関係の調整、農地の集積・集約化の推進、農業委員会等の指導、国有農地等の管理・処分等の事務を行っています。



経営支援課

新規就農の促進や青年農業者の育成、女性農業者の政策決定過程への参画推進、農業の担い手への支援、農業者の協同組織の発達、各種制度資金の調整等の事務を行っています。



地理的表示(GI)保護制度について

地域には、伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地等の特性が、品質等の特性に結びついている産品が多く存在しています。これら産品の名称(地理的表示)を知的財産として登録し、保護する制度が「地理的表示(GI)保護制度」です。

農林水産省は、地理的表示保護制度の導入を通じて、それらの生産業者の利益の保護を図ると同時に、農林水産業や関連産業の発展、需要者の利益を図るよう取組を進めています。

ホームページでは、中国四国地域のGI登録産品を紹介しています。



【高知：物部ゆず】



【徳島：阿波尾鶏】



【岡山：連島ごぼう】



【鳥取：
こおげ花御所柿】



【広島：
豊島タチウオ】



農地の効率的な利用のために

今後高齢化や人口減少の本格化により、農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されています。地域の農業を維持するために効率的に農地を利用できる担い手に土地を集める必要があります。

農林水産省では、「どの農地を、誰が、どのように使っていくか」など地域の農業の将来像を示した「地域計画」のブラッシュアップを推進しています。また、地域計画に基づいて、農地を借り受け、意欲のある農業者(担い手)に農地をまとめて貸し付ける農地中間管理機構の活動を支援しています。



農地中間管理機構について詳しく知りたい方はこちらから↓↓(農林水産省HP)



05 農村振興部①



農村計画課

都市計画との農林漁業調整、農地の転用、市民農園の整備、多面的機能発揮の促進、農業振興地域の整備に関する連絡調整、中山間地域等直接支払制度の指導・助成等を行っています。



都市農村交流課

農山漁村と都市との地域間交流等の農山漁村の活性化対策、農山漁村発イノベーションに関する事業の推進、地産地消の推進に関する事務、農福連携の活動促進等を行っています。



土地改良管理課

土地改良区等の指導・監督、土地改進黨業の手續・融資・事後評価、農用地の交換分合・換地等を行っています。



農村環境課

農村地域及び土地改進黨業に係る環境の保全、農地保全・水質保全対策、地質調査・地下水開発・保全及び地盤沈下等に関する調査、連絡調整及び指導、鳥獣被害の防止対策及びジビエの利活用促進等を行っています。



事業計画課

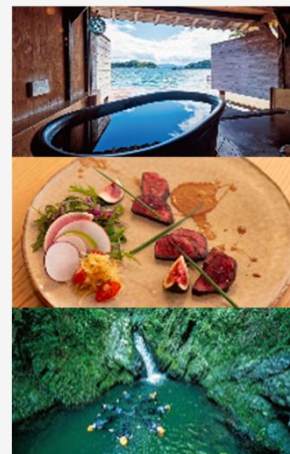
国が行う土地改進黨業地区等の調査・計画作成、県・団体が行う農地等の整備、農村整備、かんがい排水・防災等に関する事業計画地区の審査・指導等を行っています。



「農泊」の推進

「農泊」とは、農山漁村に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のことです。地域資源を観光コンテンツとして活用し、インバウンドを含む国内外の観光客を農山漁村に呼び込み、地域の所得向上と関係人口創出を図ります。

農林水産省では、「農泊」に取り組む地域に対し、地域が一丸となって取り組むための体制整備、地域資源を活用した魅力ある観光コンテンツを磨き上げる取組、古民家や廃校等を活用した滞在施設等の整備への支援を行っています。また、中国四国農政局の取組として、連携協定を締結している大学の学生が農泊を体験し、農泊地域の魅力や課題について考えるモニターツアー等を実施しています。



農泊地域の情報はコチラ



農泊総合情報プラットフォーム
「FARM STAY japan」



ジビエ等の消費拡大

農作物の鳥獣被害防止対策等のための鳥獣捕獲数が増加する中、捕獲した野生鳥獣を地域資源ととらえ、ジビエとして有効活用する取組が全国で拡大しています。このような中、農林水産省は国産ジビエの認知向上、普及、需要拡大に取り組んでいます。



←「全国ジビエフェア」の開催
ジビエの利用についてはこちら

ジビエメニューが食べられるお店、ジビエやジビエ等商品（ペットフードや皮革製品等含む）が買えるお店を検索できる。全国約2000店舗（令和5年度実績）の飲食店等が参加。



05 農村振興部②



設計課

土地改良事業の工事の設計・技術審査・指導、河川協議・水利権に係る他省庁との連絡調整を行っています。



農地整備課

国が行う農地再編整備事業等の実施、県・団体が行う農地整備事業、農道の整備事業、多面的機能支払、土地改良事業に係る営農等の指導・助言・助成等を行っています。



水利整備課

国が行うかんがい排水事業の実施、県・団体が行うかんがい排水事業の指導・助言・助成、土地改良財産の管理等を行っています。

農業農村整備事業

農業農村整備事業とは、我が国の農業生産を支える重要なインフラである農地(田や畑)や農業水利施設(ダムや水路)などの整備や改修を行っている事業です。

中国四国農政局では、中四国管内の国営事業所と連携し国営事業を、管内の各県からの申請をもとに補助事業をそれぞれ実施しています。

行政系の職員は、主に国営事業の予算管理や各県からの補助事業等の申請書類の審査などの仕事を行っています。また、管内の国営事業所で勤務し、工事契約等の業務や用地交渉などの業務を担当します。

以下にて事業の例をいくつかご紹介します！



農地の大区画化

水田を大区画化することにより、農作業の省力化・効率化を図ります。生産コスト(特に「労働費」及び「機械経費」)を低減し、営農条件の改善による荒廃農地の発生抑制や、担い手への農地の集積・集約化の加速にも寄与します。

【区画整理着工前】



【区画整理着工後】



国営農用地再編整備事業による農地の大区画化（高知県南国市）

05 農村振興部②



地域整備課

県・団体が行う農村の整備事業、農業集落排水事業、農山漁村活性化に係る交付金の実施等の指導・助言・助成等を行っています。

防災課

国や県などが行う農地・農業用施設災害復旧事業等に関するもののほか、国が行う総合農地防災事業、地すべり対策事業、（海岸事業：九州局のみ）の実施、県や団体が行う農地等保全管理事業、海岸事業等の指導・助言・助成等を行っています。

用地課

国が行う土地改良事業の用に供する土地等の買収・使用やこれに伴う損失補償、土地改良事業等により造成された施設等の事業実施中における管理・処分等を行っています。



畑地かんがい施設の整備



「かんがい」ってなに？
→農地に人工的に水を供給して作物の生育を助ける技術のこと！

かんがい施設の整備や排水改良を通して、農作物の生産維持・拡大に加え、労働時間の低減を目指しています。



農村における情報通信環境の整備

人口減少や高齢化が進行する農村地域において、農業水利施設等の農業農村インフラの管理の省力化・高度化や、スマート農業の実装を図るとともに、地域活性化を促進するため、情報通信環境の整備を推進しています。



農業水利施設の整備

ため池やダム、堤防といった農地・農業水利施設を整備し、農業生産の維持、農業経営の安定を図ります。
また同時に国土保全や地域住民の暮らしの安全確保にも貢献しています！



整備後のため池



堤防の耐震化(岡山県岡山市)



調整課

統計に関する総合調整、各部との連絡調整、統計品質管理等を行っています。



統計企画課

統計データの整備・管理、地域における農林水産施策の推進に必要な統計データの提供・分析等を行っています。



経営・構造統計課

農林漁業経営体の経営の実態を把握するための調査、所得統計等の調査、農林水産業に関する基本構造の把握のための調査（農林漁業センサス）等を行っています。



生産流通消費統計課

農作物の生産実態を把握するための面積・生産量調査、魚種別の生産量調査等を行っています。



政策の立案・推進に必要な統計データの作成

国民の主食であるコメの収穫量の調査をはじめ農業経営の状況など農林水産政策の推進に必要な統計データを作成しています。



水稻（コメ）調査の様子



データの審査の様子

調査結果は
こちらから



政策推進支援のための 地域農業のデータ分析

各種統計データや行政情報等から、地域の政策課題を分かりやすく可視化（マップ化、グラフ化等）し、地域計画等の策定支援をはじめとした現場と農政を結ぶデータ収集・分析など幅広い業務を行っています。



地域農業のデータ分析
（分析レポート）



07 県拠点



県拠点とは？

県拠点は中国・四国地方9県の各県庁所在地に配置されており、経営の安定に係る業務、統計調査だけでなく、農業者や地方自治体、農協等を訪問し、事業・制度情報の提供や農業者等との意見交換を通じた地域の課題把握、課題解決に向けた相談業務などの「現場と農政を結ぶ業務」を行っています。

【農業大学校へ施策説明】

～就職活動を控えた学生に向けて～

鳥取県拠点は、就職活動を控えている学生の方々を対象に新規就農に関する施策やスマート農業の推進等について説明を行いました。



【県立高校のフィールドワークへの対応】

島根県拠点は、地域サイエンスフィールドワークのため来訪した島根県立松江南高等学校の生徒に対し、日本農業の課題や主な施策についての説明のほか、グループに分かれ「食品表示の見方」や「災害用備蓄物品」などのブースにおける体験学習を行いました。



【OKAYAMAつながる市に参加】

岡山県拠点は、岡山市北区表町商店街で開かれた「OKAYAMAつながる市」に参加し、農林水産省の主要政策や米粉、豆などのレシピ情報など幅広い情報提供を行いました。



【農を取りまく情報交流の広場】

広島県拠点は、平成24年度から県内の農業者・流通業者・消費者等における相互の情報交換の場を作り、それぞれの課題解決や未来につながる農業の発展に向け、「農を取りまく情報交流の広場」を開催しています。



【米の収穫量調査】

山口県拠点では、国民の主食である米の需給対策や生産対策等の農政推進に用いる資料を作成するために、国の職員や専門調査員が現地で、生育状況の計測を行った後、一定面積の稲を刈り取り、乾燥・調製等を行い各種データを基に米の収穫量を決定します。



【Z世代への施策説明】

徳島県拠点は、「明日の農業を担うZ世代」を対象に、「みどりの食料システム戦略」の周知と浸透を目的として、徳島県内の農業大学校や高校へ出張講座を実施しました。



【環境負荷低減の「見える化」支援】

香川県拠点は、温室効果ガス削減への取組貢献度を☆の数で表示する「みえるらべる」の取組を推進しています。

生産者による貢献度の算定支援や店舗での取扱促進、消費者へのPRを行っています。



【多様な農業者等との意見交換】

愛媛県拠点は、多様な農業者等との意見交換（農業者の「環」プロジェクト）を行っています。意見交換は、農業者から次の農業者を紹介いただくことで「環」を広げ、より幅広い意見を汲み上げ地域の課題解決に繋げています。



【女性農業者の活躍の推進】

高知県拠点は、県内の女性農業者が横のつながりを築いて互いに交流できる場として「こうち農業女子交流会」を開催しています。交流会では、農業経営に関する講演や意見交換等の取組を通じて女性農業者の活躍を応援しています。



08 国営事業(務)所

食料需要に対応できる供給力を確保するため、食料生産の中核を形成する優良農業地域を対象に、受益者の申請に基づいて国営事業を実施しています。「農業の持続的発展」「農村の振興」「食料の安定供給」「多面的機能の発揮」という4つの基本理念に基づき、農業生産の基盤整備と農村の生活環境整備を進めています。

事業例



農地の排水改良

用排水路が未整備で排水不良や湿害が発生している農地に対し、排水改良を行っています。良好な排水条件を確保することで、農地の湛水被害を防止できるとともに、米・麦・園芸作物などのブロックローテーション（農地を複数のブロックに分け、作付けする作物を周期的に入れ替えていくことで健全な土壌を保つ手法）を行うことができるようになります。

【未整備の用水路】

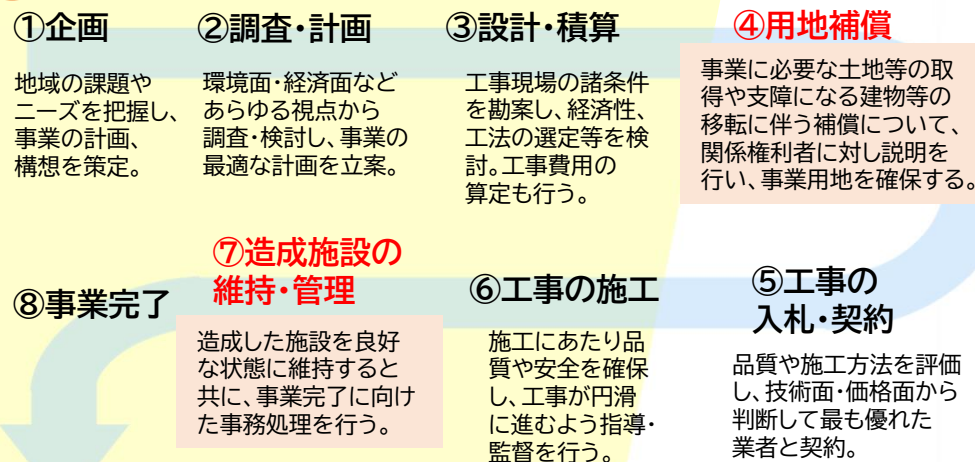


【排水改良後の農地】



国営土地改良事業の流れ

※赤字が担当する業務



(用地補償業務)

- 土地を買う**
土地所有者等の調査、土地に関する測量業務の発注、土地価格の算定等を行い、権利者と交渉して施設を造るために必要となる土地を買います。
- 建物等の移転**
公共施設の建設予定地に建物や立木等の物件がある場合は移転補償を行います。その際にも、建物等の所有者や現状の調査を行い、補償費用を算定します。
- 土地を借りる**
工事に必要(重機が通る道など)な土地を一時的に借ります。その際にも、土地所有者・耕作者の調査や作物の補償金や借地料を算定します。

(財産管理業務)

- 施設の維持・管理**
国営事業(農業農村事業)で造成された農業用施設(ダム、水路等)の維持・管理に関し、施設管理者と協議し、指導や助言を行います。
- 施設等の使用許可手続き**
他者が農林水産省の水路施設やその土地等を使用する場合、その使用条件が許可条件に合致しているかを確認し、許可手続きを行います。



せき 堰の改修(かんがい排水事業)

堰(せき)とは、河川を横断して水の流れを調整する構造物で、主に農業用水などを河川から用水路に取水するために設置されます。堰(せき)は洪水時には水を安全に流下させる役割も果たします。堰(せき)の老朽化などに伴う改修工事を行うことで、地域の安定的な農業や人々の安全な暮らしを支えています。

【堰を上空からみた全体像】



【堰の改修作業】



国営かんがい排水事業による堰の改修(岡山県和気郡和気町)



求められる人材

- 1 公務に対する強い関心と、全体の奉仕者として働く熱意を有する者
- 2 課題を解決できる論理的な思考力、判断力及び表現力を有する者
- 3 適切かつ効果的に対人折衝・調整を行うことのできる能力を有する者
- 4 職務経験を通じて体得した効率的かつ機動的な業務遂行の手法その他の知識及び能力を有する者
- 5 採用後の研修又は職務経験を通じてその知識及び能力の向上が見込まれる資質を有する者
- 6 管内の県拠点等に転勤可能である者



採用方針・求める人物像

採用に際しては、性別、出身高校及び大学にとらわれず、人物本位で採用をおこなっていますので、仕事に対し、精神的・肉体的にタフであり、情熱と積極性のある方には是非入省してほしいと考えています。

入省後は、できるだけ早く職場に溶け込んでもらい、活躍していただくことを期待しています。



採用後の処遇



入省後のキャリアパスについて

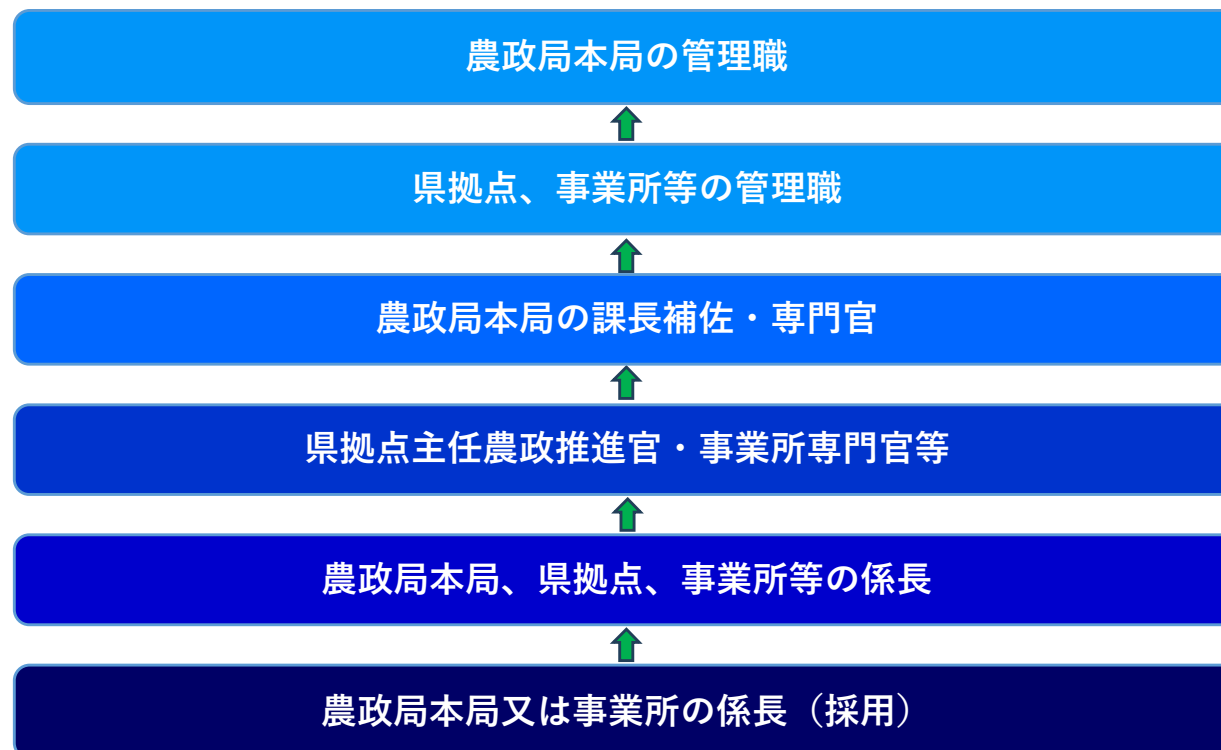
基本的に採用時は中国四国農政局本局又は事業所の係長に配属となります。

本局採用の場合、職種や本人の希望を考慮しながら、基本的に本局ポストを2ポスト程度経験していただいた後、管内県拠点・事業所等へ異動となります。

その後、将来的に、専門的に担っていただく業務を確定させ、その分野のスペシャリストを目指していただきます。

人事異動のタイミング、配置先については、人事評価結果、能力、適性の有無、希望等を踏まえて検討します。

定年年齢は現在62歳ですが、段階的に引き上げられ令和13年度に65歳となります。



育成・フォロー体制

01 研修制度

1年目の職員は、採用間もなく新規採用者向けの研修を受け、秋には農家などの現場で1週間程度の実習を行います。その後も、行政研修(係長・課長級など)、専門研修などを通して、職員の資質向上と業務能率の増進を図っています。役職や職務に応じて中国四国農政局、農林水産省、人事院などそれぞれが実施する研修に参加することで、スキルアップを図っていただきます。

主な研修の紹介

このほかにも多数あります！

農林水産省本省主催

- 一般職試験採用者研修(1年目)
- 係長養成研修
- 係長フォローアップ研修
- 課長補佐等養成研修
- 課長補佐等フォローアップ研修
- 管理者研修
- メンタルヘルス担当者研修
- ITパスポート等研修
- 外国語能力向上研修

中国四国農政局主催

- 農村実地研修(1年目)
 - 外部有識者による業務研修
 - 食品安全行政担当者研修
 - 用地・管理業務従事者育成研修
 - 統計調査実務研修
 - 各部横断的な業務説明会・スキルアップ勉強会
- #### 他省庁主催
- 服務・懲戒・倫理制度研修(1年目)
 - 給与実務初任者研修(俸給・給与・支給)
 - 会計実務研修



一般職試験採用者研修



農村実地研修



02 メンター制度

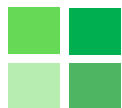
新規採用職員には、年次の近い先輩職員がメンターとなり、仕事上の悩みを定期的に気軽に相談できる環境を整えています。採用後1年間(採用2年目は希望制)、先輩職員が自身の経験を踏まえてアドバイスを行い、新規採用職員の成長を支えます。



03 パルスサーバイ制度

職員一人ひとりがやりがいを持って、心身ともに健康で働き続けられる職場づくりの一環として、採用後5～10年目までの若手職員に短い周期で簡易アンケートを実施し、職員の健康状況等をリアルタイムで把握しています。メンタルヘルス不調の未然防止に役立てています。





過去の採用実績

中国四国農政局では令和2年度より選考採用を実施しています。（）：採用人数のうち女性の人数

試験種	大卒程度						高卒程度		選考採用	
試験区分 入省 年度	行政 ・ 教養	農学	化学	機械	農業農村工学	土木	事務	農業土木 ・ 技術	事務系	技術系
R4	12(5)	3(2)	2(1)		5(2)			2(1)	11(6)	5
R5	13(5)	4(2)			4(1)			2(1)	14(8)	4
R6	15(8)	5(3)	1		3(1)			4	14(4)	1
R7	13(9)	8(5)			2(1)			4(2)	10(3)	5(1)
R8	19(14)	5(3)			1		1(1)	6	9(1)	3

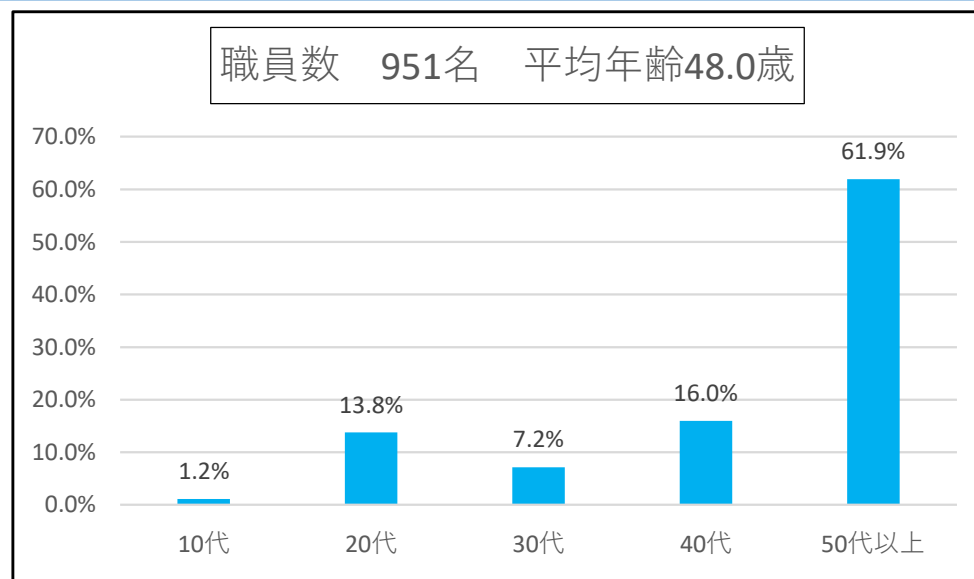
※参考(選考採用事務系における採用前の業種です。幅広い業種から中途採用されて活躍しています。)

医療系、印刷系、運輸系、卸売業、金融系、建築系、小売業、国家公務員、宿泊業、食品系、製造業、地方公務員、独立行政法人、農業関連、不動産業、保険業、郵便系、旅行業(※五十音順にて記載)



中国四国農政局の職員構成

(R8.4.1現在)※再任用短時間勤務職員除く





ワーク・ライフ・バランス

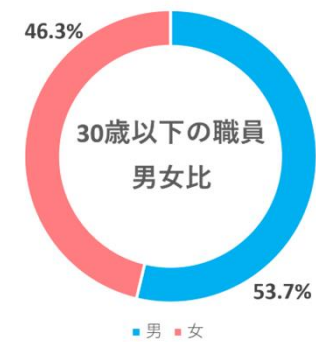
国家公務員は制度が超充実しています！

勤務時間	8時30分～17時15分（休憩 12時～13時）
休暇制度	年次休暇：1年に20日付与、15分単位で取得可能！ 特別休暇：夏季、結婚、出産、忌引、ボランティア等
勤務制度	早出遅出勤務（1日の勤務時間を変えずに始業時間を日ごとに設定可能）、フレックスタイム制、テレワーク可能
基本給	276,300円～364,200円（3級1号俸～109号俸）
手当	・通勤手当（月上限150,000円！）・住居手当 ・超過勤務手当・扶養手当 ・期末手当、勤勉手当（ボーナス年2回、6月・12月、年間4.65ヶ月分！）など
福利厚生	・各県に公務員宿舎あり（有料） ・健康診断、特定健康診査、特定保健指導の実施 ・人間ドックの受診助成 ・共済組合・厚生年金加入、その他共済組合提携の各種サービス、団体割引等あり ・引越費用支給あり
育児休業	子が3歳まで取得可能
育児時間	勤務時間の始め又は終わりに30分単位（最大2時間まで）又は1年につき10日相当の勤務時間の範囲内で1時間単位の無給休暇
育児参加休暇	配偶者の産前から出産日以後1年の期間に5日の休暇
子の看護休暇	子が小学3年生まで、1年に5日の休暇
介護休暇	家族1人につき6ヶ月間の日又は時間単位（最大4時間まで）の無給休暇
介護時間	家族1人につき3年間の30分単位（最大2時間まで）の無給休暇
短期介護休暇	勤務時間の前後に通院の付き添いや介護サービスの手続きで、1年に5日の休暇

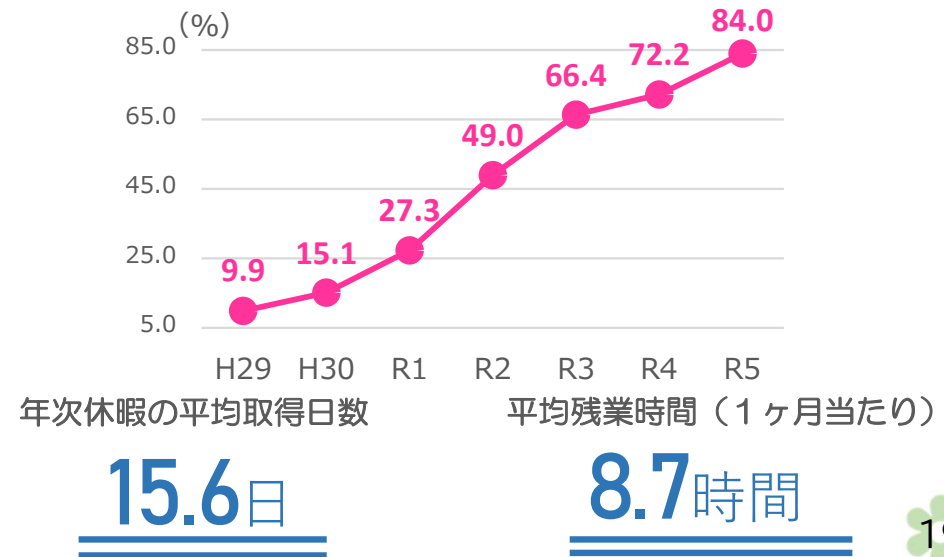
【職場環境】



【数字で見る中国四国農政局】（令和8年4月1日現在）



男性職員育児休業取得率 出典：国家公務員の育児休業等の取得状況のフォローアップ



働き方改革 愛されChúshi未来プロジェクト

中国四国農政局では、将来中国四国農政局の中心として活躍することになる若手職員を中心に意見を出し合い、議論し、具体化することにより、「理想の職場」として、働きやすい職場(環境・場所)を創造し、職員が愛着を持てる職場(働き方・ルール)を確立させる事を目標に、令和2年度から『愛されChúshi未来プロジェクト(通称:ミラプロ)』を立ち上げ、活動を開始しました。



01 目標の設定

ミラプロでは、今年度のテーマを「働きやすい職場」「愛着が持てる職場」「理想の職場」として、大谷翔平選手も活用していた以下のようなマンガラートをひとり1つずつ作成！

【マンガラート】

卓上カレンダー配布	outlook予定表活用	5分前行動	ショートカットキー	デスクトップ整理術	便利なオフィスグッズ紹介	挨拶	立ち話スポット	昼食スペース
業務べ切の課内共有	"時間意識"をつくる	会議は長くても30分	office活用	"効率性"をつくる	"あの人の机/ロッカー"紹介	メール<Teamsチャット	"コミュニケーション"をつくる	おやつスペース
16:15に音楽	"昼休みの過ごし方"紹介	ミーティングスペースの卓上に時計	GSS活用	10分スリープタイム	紙削減	他局同業務交流会	フリマ	局周辺おすすめお祭り
残業<朝	完全定時退庁日の徹底	のびのびタイム	②時間意識	②効率性	①コミュニケーション	デスクにお花	グリーンカーテン	個性豊かなデスクトップ
食堂で朝ごはん	"健康"をつくる	エレベーター<階段	②健康	理想の職場	①明るさ	完全私服DAY	"明るさ"をつくる	絵文字
朝活スペース	食堂でサラダバー	自転車点検会	②学び	③ミラプロへの共感	①憧れ	季節装飾	BGM	おすすめおやつ紹介
図書スペース	新聞スクラップ	今月の目標を立てて課内共有	アンケートでニーズの把握	ミラプロボスター作成・掲示	広報誌の作成	キャリアパス相談会	先輩インタビュー	業務のこだわりリスト
一緒に資格を取ろうの会	"学び"をつくる	暇な時の他課ヘルプ	やること投票	"ミラプロへの共感"をつくる	消費者の部屋	女子会	"憧れ"をつくる	課のメンバー紹介を扉に貼る
語学研修	ビジネススキル研修	中四の農産物紹介	先進事例職場見学	他局・他省庁の取り組み紹介	BUZZ MAFF	360° 評価	ポジティブアウトプット	周りをよく見る

02 活動内容決定

メンバー全員で集まり、自分が考えたマンガラートを発表！取り組んでみたいことについてプレゼンテーションを行い、他のメンバーの発表を聞いたうえで、今年度の活動内容をいくつか決定し、それぞれグループに分かれます！

【令和7年度の活動グループ】

業務効率化

PCスキルアップ(アプリの活用)
ペーパーレス化の推進

交流・研修参画

若手職員向け
ランチ会の開催

庁舎環境整備

休憩スペースの拡大
会議室予約
マニュアルの作成

掲示板管理・HPの活用

交流掲示板の改良
ランチマップ作成

WLB・休暇・勤務時間有効利用

年休取得推進・完全定時退庁日のチラシ作成
職員の健康増進

03 活動開始

若手職員向けランチ会の開催



長期休暇取得推進PRチラシの作成



若手職員からベテラン職員まで様々な職員がYouTuberとして活躍しています！
ここでは中国四国農政局で活動している3つのチャンネルを紹介します！

こんにちは！ちゅーしのじかんです！！
中国四国地方の食&農の魅力を、
国内外の方々にお届けします！



広島県発のBUZZ MAFF！
鳥獣被害・ジビエ、J-クレジット
など地域の取組をお届け！



短すぎた爽やかな秋からさむ～い冬へ。
南国高知を愛しゅう集團のハートは
年中、常夏ながよ！！



検索

ぽちっ！

育児休業取得者の声

育児休業取得について

農林水産省では、全ての職員が健康で生き生きと働き能力を最大限に発揮できる職場環境を実現していくためにワークライフバランスの推進に力を入れています。



農村振興部 地域整備課

桑田 絵理子

R2.8.6～R3.4.11 育児休業

R4.8.1～R5.4.21 育児休業



経営・事業支援部 経営支援課

池内 龍也

R3.10.8～R3.10.31 育児休業

R8.7.13～R8.7.31 育児休業



仕事と育児の両立について

育児時間勤務の制度を使い、8:30～9:00、16:45～17:15を育児時間に設定して働いています(9:00～16:45勤務)。夫は柔軟な勤務時間の設定が難しい職場で勤務しているため、保育園の送迎や急病時の対応は主に私が担当しています。家事については、夫は早朝、私は夜に分担して行っています。

親子の心身の健康のためには、家族の協力と職場の理解がどちらも絶対に不可欠ですが、幸いなことにどちらも十分な環境で、双方に感謝するばかりです。当省は、制度面で充実していると思うので、使える制度は存分に活用して、仕事でも家庭でも工夫しながら頑張っていきたいと思います。ただ、現実問題として、時間も人手も有限な中、職場でサポートしてくださっている方々に申し訳なく思う場面には多々直面します。なんとかならないものか…と思うとともに、いずれ自分がサポートする側に立った時には、同じように笑顔で支えられる存在でありたいと思います。

育児休業取得について

令和2年6月に長男を出産し、当初は約3年の育児休業を取得予定でしたが、産後に情報収集したところ、近隣は待機児童が多いいわゆる「保活激戦区」であるため、希望する園に入るには、0歳児クラスへの4月申し込みが確実と知りました。そこで、休業期間を令和3年4月までに変更して無事に最寄りの園へ入ることができました。その後、令和4年6月に次男を出産。長男と同じ事情で0歳10カ月で入園とし、令和5年4月に復帰しました。

子育てのやりがいや苦労

仕事と違い外部から定められた到達点(ゴール)はなく、子の成長を見逃さず自ら達成感を掴んでいくという点が、やりがいでもあり難しい点であると感じています。勤務時間中は職務に集中、帰宅後は家族に集中！メリハリをつけることと、自分のための時間を取ることを大切にしています。息子たちの笑顔や寝顔、日々たくましくなる姿を眺めていると、日々の疲れが癒されます！

育児休業の取得にあたって

当初は2週間程度、育児休業を取得する考えでしたが、上司の方から「もう少し長く休まなくて良いの？」と逆に提案をいただき、特別休暇と合わせて1か月弱休暇を取得しました。復帰後も早く退庁できるように上司や同僚にご配慮いただき、積極的に育児に関わることができました。

育児休業を取得して感じたこと

私は選考採用で入省しており、長男が産まれた時には前職におり、今回初めて育児休業を取得しました。育児休業中は、自分の休みたい時に休めなかったり、家事が思うように進まなかったりと、妻の日頃の苦労を身をもって実感し、産後間もない頃は特に、家族のサポートの必要性を感じました。

配偶者からのコメント

長男が産まれた時も育児には積極的に関わってもらっていましたが、今回、育児休業を取得し、夜中のオムツ替えをしてくれたり、長男の遊び相手や私の話し相手になってくれたりしたことで、産後の心身の負担感が違ったように思います。我が子の貴重な成長の瞬間を夫婦で共有できたことは、かけがえのない時間となり、宝物になりました。

選考採用者からのメッセージ

農林水産省では、選考採用(中途採用)も行っており、入省した職員は各部署にて事業担当(内部管理ではなく実際に事業に携わる担当)として幅広く活躍しています！

消費・安全部 米穀流通・食品表示監視課

河本 尋美

【前職種】

地方公務員

【職歴】

R6.4 入省 消費・安全部 消費生活課消費者相談係長

R7.4 消費・安全部 米穀流通・食品表示監視課有機食品係長



私は令和6年4月に、選考採用として消費・安全部消費生活課に配属されました。配属後は、農政局の取組を広く知っていただくための場として設けられている「消費者の部屋」の企画・運営のほか、消費者からの相談対応や交付金業務などに携わりました。令和7年4月には米穀流通・食品表示監視課に異動となり、現在は充実した研修制度のもとで、食品表示の監視業務に関する知識を身につけています。

職場は風通しがよく、皆さんとても温かい方ばかりです。分からないことがあればすぐに相談できる環境が整っており、安心して業務に取り組むことができます。また、休暇が取りやすく、プライベートとの両立もしやすいため、オンとオフの切り替えもしやすいと感じています。

サポート体制がしっかりしていて、自分のペースで成長できる環境が整っており、ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方も可能です。安心して一步を踏み出していただければと思います。皆さんと一緒できる日を、心から楽しみにしています(^^)

経営・事業支援部 担い手育成課

清水 大輔

【前職種】

国家公務員

【職歴】

R6.4 入省 経営・事業支援部 担い手育成課経営整備係長



私は、令和6年4月に入省し、現在は、担い手育成課で地域計画及び農業経営基盤強化準備金に係る業務に携わっています。前職が公務員であったことから、今までの経験を活かせるのでは、と思い志望しましたが、農林水産関係の法令には触れたことがなかったことから、日々関係法令を自ら調べたり、上司や先輩方に教えていただいたりしながら、業務を行っています。

皆さん気にされているかもしれない、職場環境についてですが、大変風通しが良いと個人的に思っています。先に述べたように、上司や先輩方が優しく丁寧に指導してくださるので、人間関係も非常に良好だと実感しています。また、入省1年目に関わらず、不慮の？事故でしばらく職場で仕事ができない時期があったのですが、職場の方々・家族のフォローを受けながら、テレワークを活用させていただき、公私共に問題無く過ごすことができました。この場を借りて御礼申し上げます。

農政局に興味を持って下さっている皆さん、思い切ってチャレンジしてみてください！

ある1日のスケジュール

8:00

登庁

8:45

本省主催研修
事前学習

12:00

昼食

13:10

本省主催
オンライン研修

17:15

退庁

8:30

登庁

9:30

担当業務の
審査、問い合
わせ

12:00

昼食

13:00

会議

17:15

退庁

選考採用者からのメッセージ

南周防農地整備事業所

用地課用地補償係

【前職種】

金融系(営業職)

松永 雄大

【職歴】

R6.4 入省 宍道湖西岸農地整備事業所 用地補償係

R7.10 南周防農地整備事業所 用地補償係



現地調査や関係機関との打ち合わせとして現場を訪問する機会もあり、農業用水路、整備された圃場などを間近で見ると、スケールが大きく、農業を通じて、幅広く社会貢献している仕事を担っていることを肌で感じることができます。日常生活において、切り離すことができない「食」と「環境」に関するインフラ整備について、次世代まで安定して供給していくための仕事であり、とてもやりがいのある仕事です。

前職では聞くことがなかった用語が飛び交っていたりと、最初は不安だけでしたが、上司や先輩方からは親切丁寧にご指導していただき、課内研修や日常業務の中でのOJTを通じて、勉強できる環境が整っています。また、アットホームな雰囲気です。明るく、困ったときにはすぐに相談できる風通しの良い職場だと思います。

このページをご覧になられた方々と、一緒にお仕事できる日を心よりお待ちしております。

鳥取県拠点地方参事官室

大場 寛子

【前職種】

卸売業(営業職)

【職歴】

R4.4 入省 農村振興部農村環境課鳥獣被害対策係

R6.4 鳥取県拠点 地方参事官室



私は令和4年4月に選考採用で入省いたしました。前職は全く違う業種の民間企業に勤めていましたが、「食」に携わる仕事をしたいと思い、思い切って選考試験に挑戦しました。

入省後の2年間は、農村振興部農村環境課で鳥獣被害対策係を担当しておりました。補助金の仕組みも鳥獣対策も何も分からないところからのスタートで予想はしていたものの、難しい法律や規程があり毎日苦戦する日々でしたが、周りの方々にご指導いただき少しは成長できたかなと感じています。

令和6年4月からは、鳥取県拠点地方参事官室の総括担当にて業務を行っており、現在は有機農産物などの環境に配慮した農産物を取り扱っているお店や農業者さんへの取材を行っています。県拠点は農業者の方とお話をする機会も多く、今まで以上に農水省全体の事業を把握しなければならないので、また勉強の日々ですが、前職の営業で学んだことも生かし、明るく接することを心掛けながら業務に取り組んでいます。

ある1日のスケジュール



採用スケジュール



選考日程(2026年度)

受付期間	令和8年7月31日(金)～10月13日(火)12時(受信有効)
第1次選考合格発表	令和8年10月28日(水) ※合格発表日に合格者にのみメールで通知します。
第2次選考	令和8年11月24日(火)～12月6日(日)で指定する日 ※日程調整はメールで行います。
最終合格発表	令和8年12月14日(月)(予定) ※合格発表日に合格者にのみメールで通知します。



選考方法

選考	内容
第1次選考	・書類選考(経歴評定) ・論文試験(職務経歴等に関する論文により、職務遂行に必要な能力等を有しているかどうかを判断する試験)
第2次選考	・人物試験(人柄、対人能力等についての試験) ※第2次選考の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。



Welcome to 中国四国農政局！

中国四国農政局では、職員同士の仲を深める活動として、所属課等での懇親会やプライベートでの交流活動などがあり、それぞれ自由に参加しています。

また、中国四国農政局は職員数が比較的多いため、様々なサークル活動があります。強制的に参加するものではありませんので、各個人がしたい活動をした時にしたい人と行っています。



所在地

〒700-8532

岡山市北区下石井1丁目4番1号

岡山第2合同庁舎内

(アクセス方法)JR岡山駅より南へ徒歩10分



「食」と「環境」を 未来に継承する

令和8年度入省式



採用に関する問い合わせ先

担当	連絡先
総務課人事第1係	☎ 086-224-9402 ✉ saiyou.chushi@maff.go.jp

説明会や採用に関する情報は
HPに掲載中！

中国四国農政局 選考採用

検索

https://www.maff.go.jp/chushi/org/recruit/annnai_senkou.html

公式SNS



採用情報HP

その「おいしい」を
未来に残したい。
そんな仕事を
一緒にしよう。

